

# 経営比較分析表（令和5年度決算）

長崎県 西海市

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	特定環境保全公共下水道	D2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m <sup>3</sup> 当たり家庭料金(円)
-	59.24	13.46	100.00	3,257

人口(人)	面積(km <sup>2</sup> )	人口密度(人/km <sup>2</sup> )
25,437	241.84	105.18
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km <sup>2</sup> )	処理区域内人口密度(人/km <sup>2</sup> )
3,404	1.27	2,680.31

グラフ凡例
■ 当該団体値(当該値)
- 類似団体平均値(平均値)
【】令和5年度全国平均

## 分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

①経常収支比率は前年度から0.44ポイント増の103.61%。単年度の収支は黒字で類似団体平均値よりも低い。②累積欠損金比率は前年度から42.7ポイント減の482.88%で類似団体平均値よりも高い。③流動比率は前年度から16.61ポイント増の90.04%。1年以内に支払うべき債務に対して現金が不足しているが類似団体平均値よりも高い。④企業債残高対事業規模比率は前年度から11.45ポイント増の53.94%。汚水処理費が下水道使用料で賄われておらず、類似団体平均値よりも低い。⑤経費回収率は前年度から6.46ポイント増の35.43%で類似団体平均値よりも低い。⑥汚水処理原価は前年度から79.36円減の297.09円で類似団体平均値よりも高い。⑦施設利用率は前年度から6.46ポイント増の35.43%で類似団体平均値よりも低い。⑧水洗化率は前年度から1.20ポイント増の71.65%で類似団体平均値よりも低い。本事業は平成21年3月に供用開始し現在も管渠整備を進めています。今後の接続率の上昇に伴って施設利用率も上昇することが見込まれます。

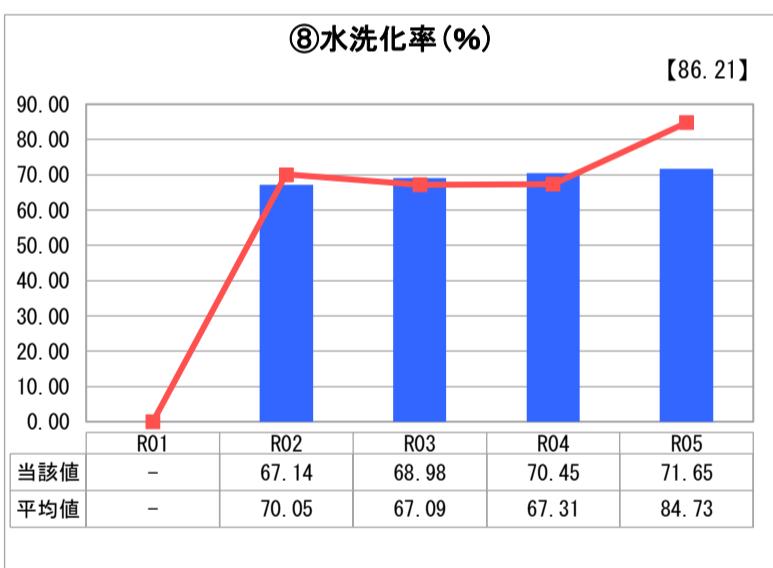
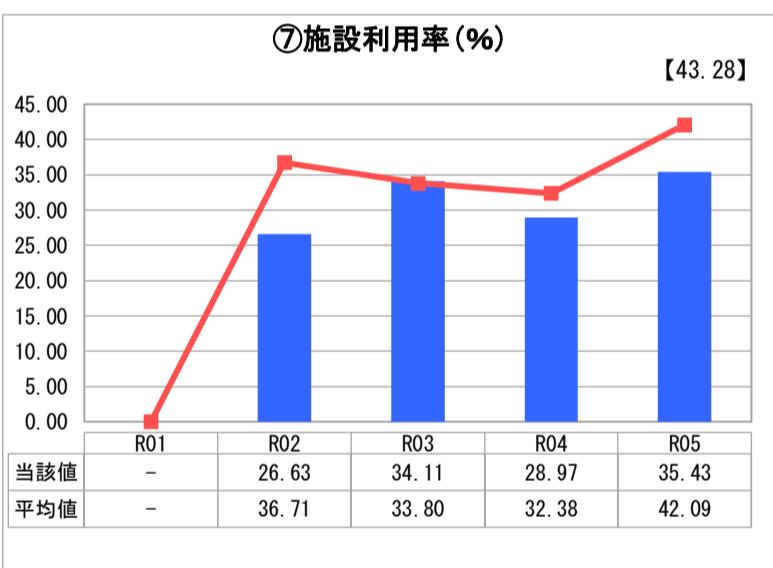
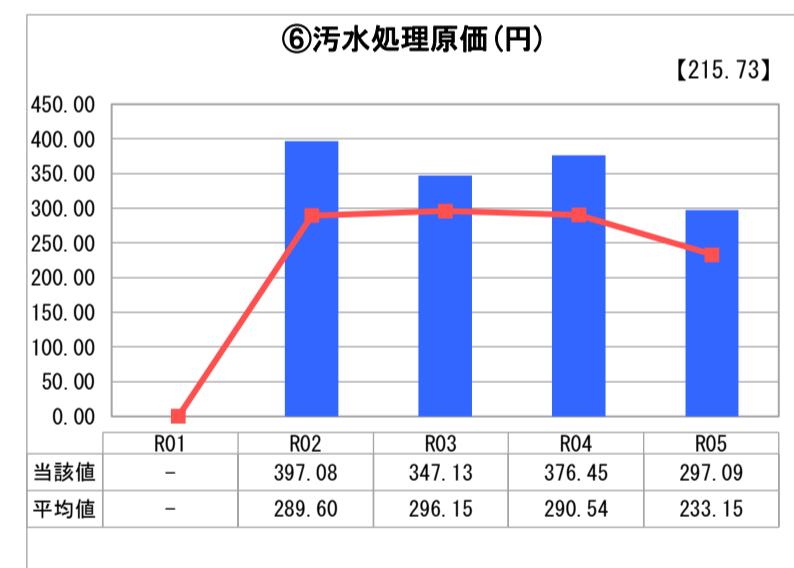
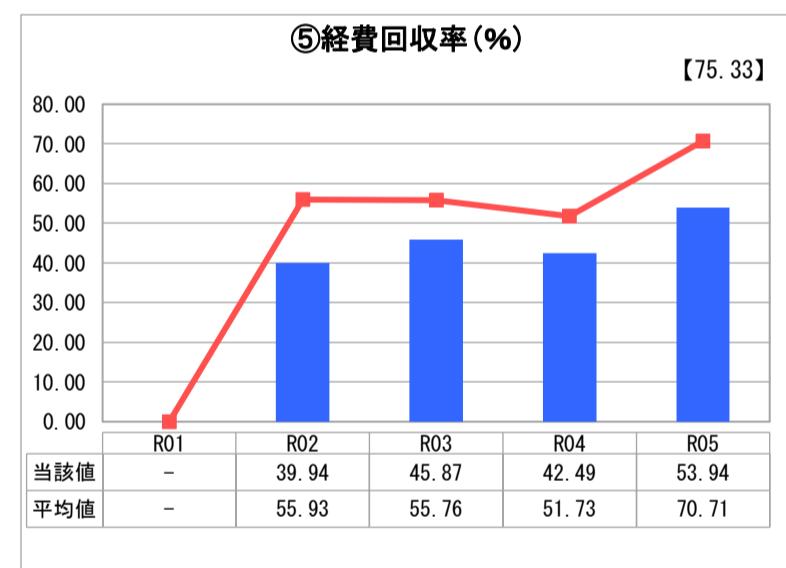
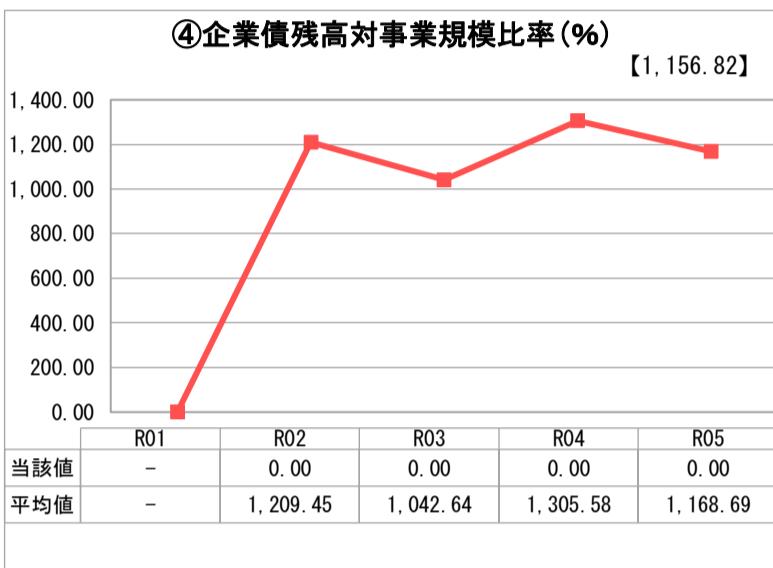
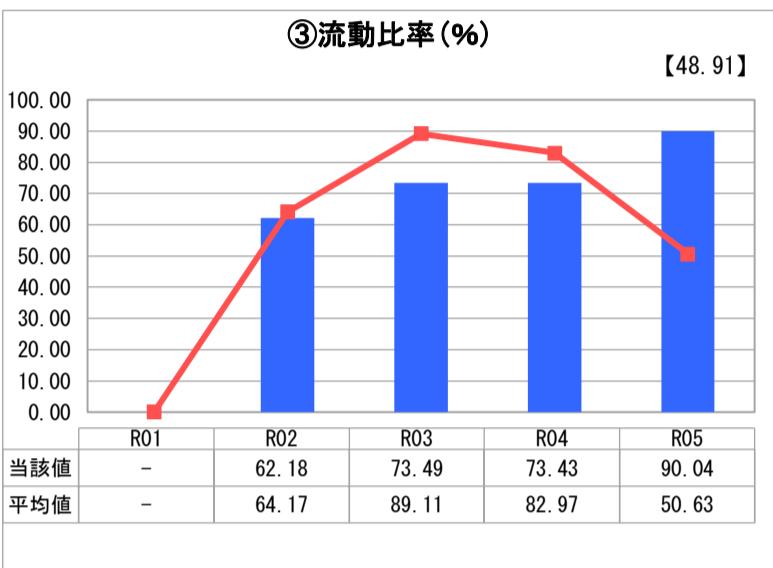
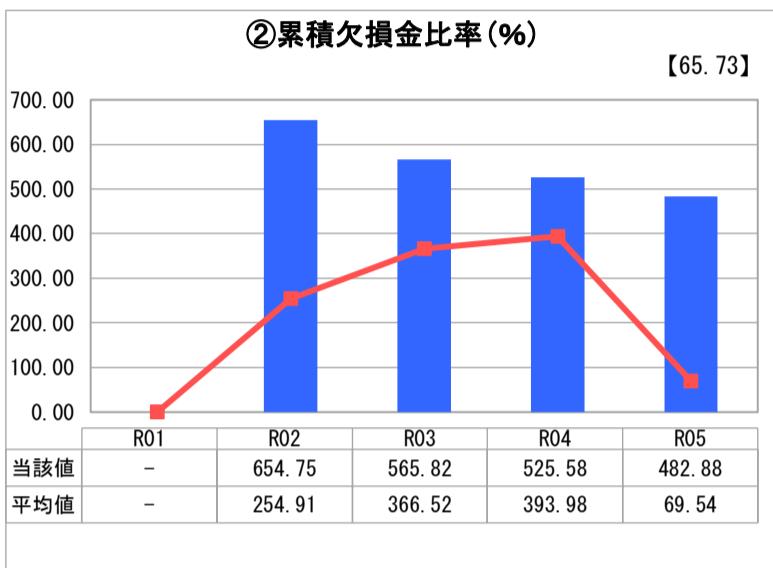
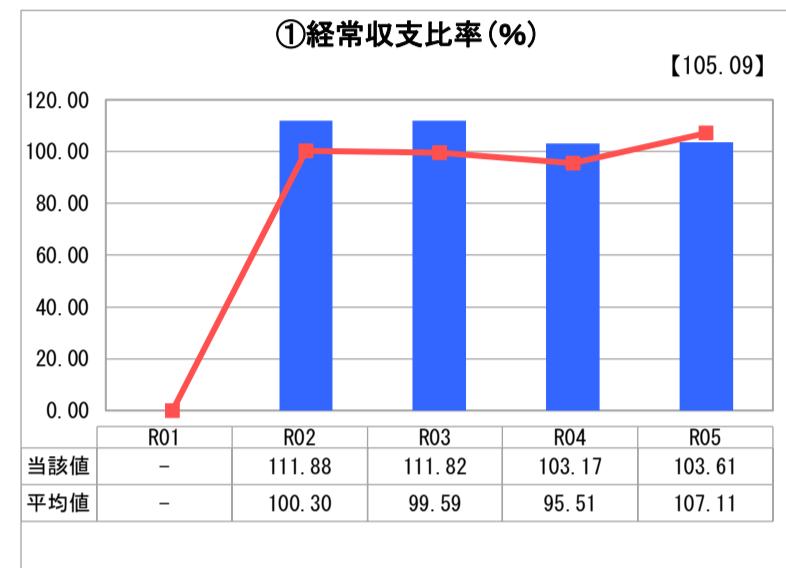
## 2. 老朽化の状況について

①有形固定資産減価償却率は前年度から3.22ポイント増の13.44%で類似団体平均値よりも低い。法定耐用年数を経過した管渠はなく、更新の必要性は低い。供用開始から14年が経過し、機械・電気設備等は故障箇所を修繕するといった事後的な対応を行っています。今後、各資産の更新時期の到来により多額の更新費用が必要となります。

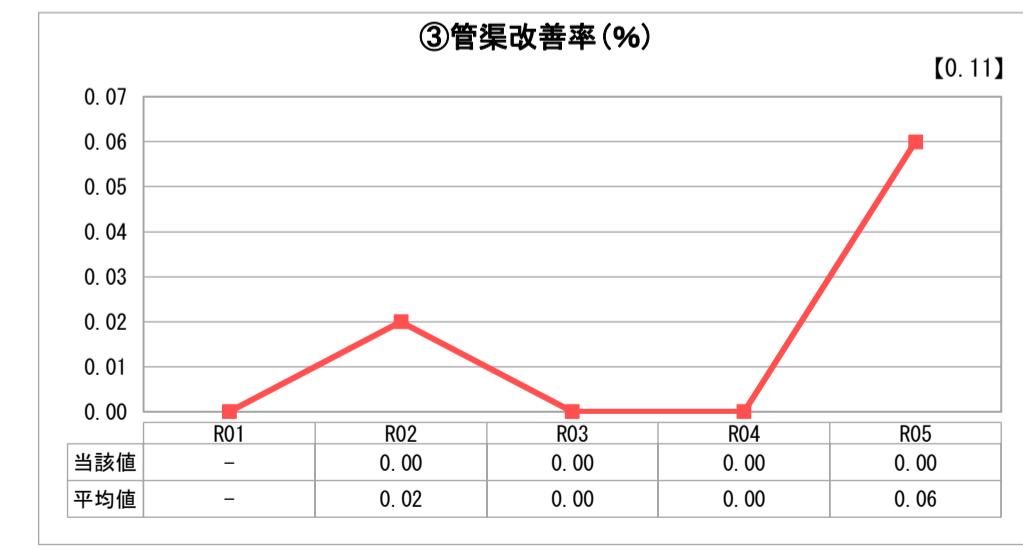
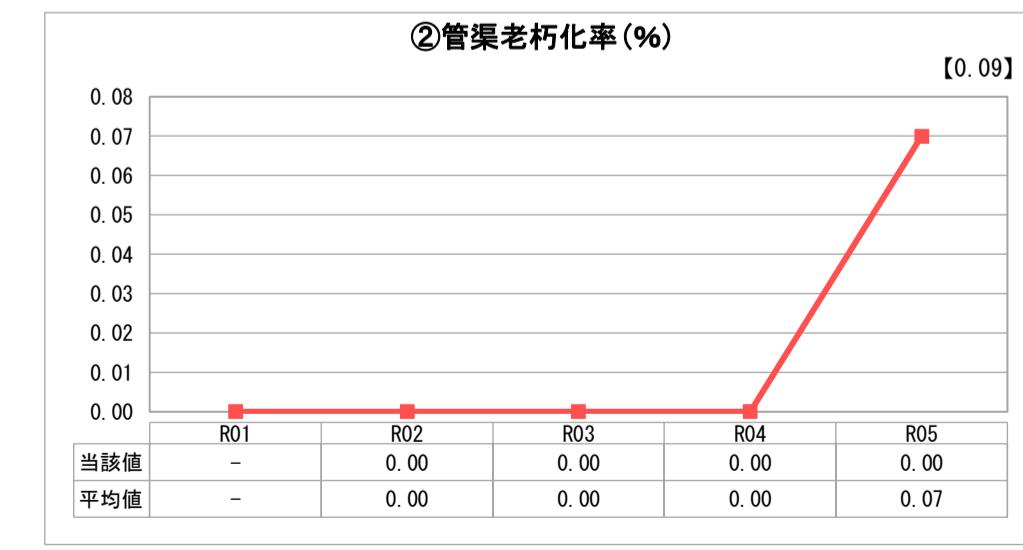
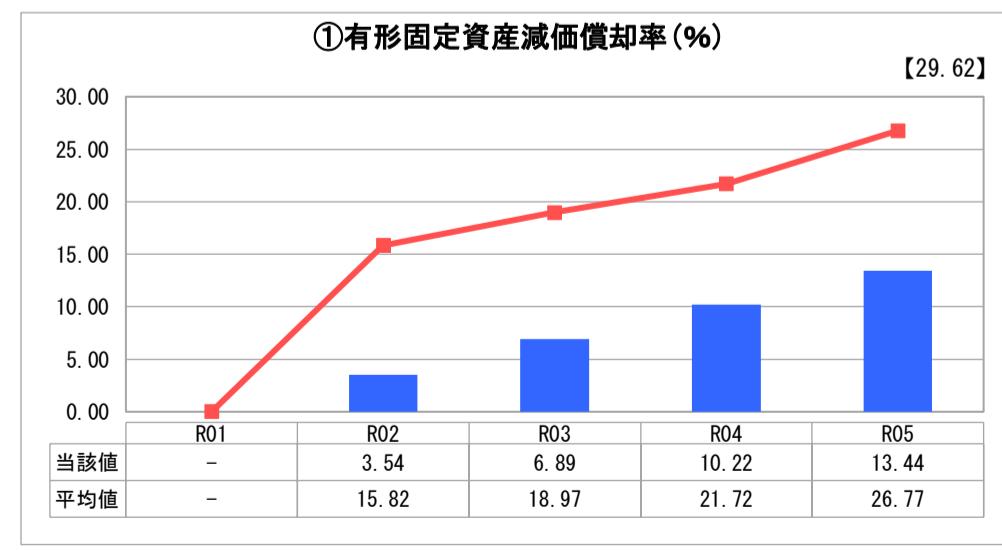
## 全体総括

本事業は令和8年度概算に向けて計画区域内の管渠整備を進めています。単年度の収支は黒字になっていますが、一般会計からの多額の繰入金を受けており、経営の健全性・効率性には課題があります。経営改善に向けた取組みとして、維持管理費の削減、接続率の向上及び施設の長寿命化に引き続き取り組むとともに、下水道使用料の改定のほか、施設の処理能力や耐用年数等を踏まえ、近隣施設との統廃合についても検討する必要があります。

## 1. 経営の健全性・効率性



## 2. 老朽化の状況



\* 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のみの類似団体平均値及び全国平均を算出しています。